



五福っ子



令和6年9月5日発行 No.8

2学期も ゆたかな心 五福っ子

心配された台風10号による大きな被害はなかったようで、五福小では、無事に2学期を送っています。

9月4日(水)は、朝がいつもほど蒸し暑くなかったこともあり、業間休みには、鬼ごっこやドッジボールなどを楽しむ子どもたち&先生であふれかえっていました。



新学期になると、発育測定を行います。身長、体重などを測り、自分の成長を確かめるためです。

授業中に廊下を歩いて保健室まで移動するので、マナーが大切です。他の学年の授業の邪魔にならないように、職員室で仕事をしている先生方の邪魔にならないようにと、黙って静かに移動するよう、先生方が指導しています。

職員室で仕事をしていると、廊下に人影が見えた気がしたので、廊下へ出てみました。すると、発育測定を終えた4年生が、静かに教室へ戻っていました。走って前の友達に追いついたり、声を掛けて喋ったりすることなく、均等に距離を開けたまま、音を立てずに歩いていた。

その後、他の学年も通りましたが、2年生や1年生まで、まるで忍者のように、足音もさせず静かに廊下を歩いていて、驚きました。先生方の細やかな指導と、それを素直に聞き入れて実行することができる五福っ子の行動力・判断力に感心します。この、安全で周りの人を思いやる廊下の歩き方が習慣になると、きっと廊下でのけがはゼロにできるなあと期待して、これからも見守っていきます。

2学期の始業式に、田舎の裏庭で見つけたヘビの抜け殻を紹介したところ、何人かの子どもたちが、校長室を訪れました。「失礼します。〇年〇組の〇〇です。ヘビの抜け殻を見せてください。」と、とても礼儀正しく挨拶をしてやってきました。私は、好奇心をもってくれたことが、ただうれしいのです。

頭の前からしっぽの前まで、手に取って念入りに見る子もいれば、ちょっと離れたところから眺める子もいます。ヘビが好きか嫌い、これまでに見たことがあるとかないとか、意外と話が弾みます。

ある日、「お尻の穴がありますね。ここから先が尻尾ですよ。」と、4年生が教えてくれました。驚いて見ると、それらしき穴が、皮の裏側に確かに見えました。へえ、ここから先が尻尾なのかあ。生き物博士のおかげで、私も初めて“ヘビの尻尾”を知りました。

